

常時における需要の積み重ねに注力している。

◇

さて同社のモノづくりにおいて欠かすことのできないものが「自社内一貫体制」だろう。時として繁忙期においては信頼関係を築く協力業者へ一部の加工等を依頼することもあるものの、ほぼ9割以上は自社生産。

熱交換器・ユニットクーラーの熱量計算から製作図面まで社内設計し、自社工場での板金加工から組立まで一貫して製造することで効率化と厳密な精度管理を実行し

ている。

一方、昨年9月より、2021年度をスタートさせた同社は現在、第3四半期の期中だが、今期の業績について原正憲社長は「この6月までは、例年並みの需要に恵まれかなり忙しい状況が続いていたが、ここへきて多少現場も落ち着きを取り戻している。但し、今期決算後の9月以降には再び需要が拡大しそうな勢いがある。特に物流センタリーなどの大型案件での見積もりや問い合わせが増加している。巣籠需要から生まれたECサイト

などの拡大も背景としてあるようだ。当社として

も仮に受注となった場合には冷却器の台数ベースでも3桁の単位で動きます。市中での環境はコロナ禍緊急事態宣言の発出によって行きつ戻りつといった状況を繰り返しているが冷熱関連の市場環境としては秋以降の動きに期待する」と話す。

また、同社主要事業の一つであるアスベスト除去工事について同社では「アスベストは食品工場のような場所で使用されている可能性があり、企業責任、労働環境の保全、改修工事、スクラップ&ビルドに備えた取り組みとして、まずは工場全体を対象とした事前調査から」との呼びかけを行っており、会場での反響が期待される。

門ス
赤ウィレックス

赤ウィレックス

「アスベストの基礎」テーマにセミナーも

環境・衛生ソリューション一堂に

総合衛生管理サービス

を全国展開する赤門ウィレックス（社長＝山田晃也氏、本部・愛知県長久手市戸田谷1323）は、FOOMA JAPAN2021（国際食品工業展）で高所清掃、ダクトクリーニング（IAQ工法）、アスベスト対策、防虫・防霉、陰陽圧改善工事など環境・衛生に関連する幅広いソリューションを具体的な事例とともに紹介する。会場は愛知スカイエキスポ展

示ホールA-A1543。

同社は、食品安全と衛生管理のプロフェッショナルとして『クレームの出ない工場』をテーマとする取組をサポートしている。今回のFOOMA展では、通常では届かないところに潜む異物混入につながる危害ポイント（ハザード）を具体的な改善策をまじえて紹介する。

同社が提案するソリューションは、空調システムメンテナンス、工場設

備維持管理、厨房メンテ

ナンス、衛生設備メンテナンス、クリーンエリア環境管理、アスベスト対策など多岐に渡る。空調に関連するソリューションでは空調ダクトのクリーニングをはじめ、冷却塔・冷凍機・空調機のメンテナンスなど現場密着型のコンテンツで市場の支持を得ている。

工場のIAQ（室内空気質）改善につながるのがダクトクリーニング（IAQ工法）。これは

講師は同社執行役員で安全環境部長の平井幹人氏。セミナーでは施設管理者、工事発注者などを想定したアスベストに関する法規・条例・管理方法などについて詳細に解説する。定員は80人。

また、同社主要事業の一つであるアスベスト除去工事について同社では「アスベストは食品工場のような場所で使用されている可能性があり、企業責任、労働環境の保全、改修工事、スクラップ&ビルドに備えた取り組みとして、まずは工場全体を対象とした事前調査から」との呼びかけを行っており、会場での反響が期待される。